

あなたの事業所・・・

# 安全運転管理者を選任していますか？

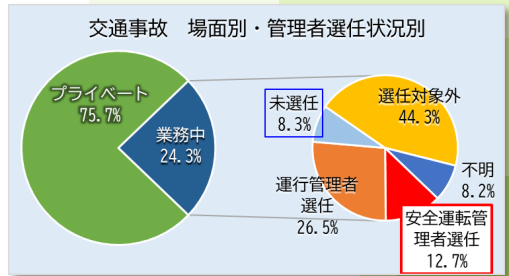
2023年中に発生した福岡県内の交通事故のうち、業務中（出退勤中含む。）の事故は全体の約1/4を占めています。プライベート時とは違い、業務上における運転では自動車の台数に応じて「安全運転管理者等」を選任し、使用者に成り代わって従業員等に安全運転を遵守させる「安全運転管理者制度」が道路交通法で定められています（運送法を対象とする事業者[タクシー・バス・トラック]は運行管理者を選任）。

では、どれくらいの事業所が安全運転管理者を選任しているのでしょうか。令和3年6月に千葉県八街市で発生した、小学生5名が死傷した事故を契機に増加し、令和5年12月末現在で約1万9千事業所となっています。

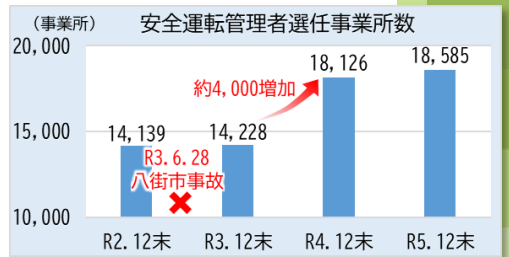
さて、「安全運転管理者制度」に関わる交通事故には、どのような特徴があるのでしょうか。

発生時間別で見ると、朝の出勤時間帯が突出して多く、夕方の事故が比較的少ないのが特徴です。その理由は、出勤時間が一極集中しているのに対して、退勤時間は広く分散しているためと考えられます。

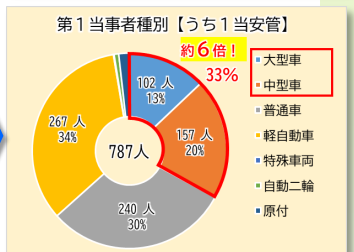
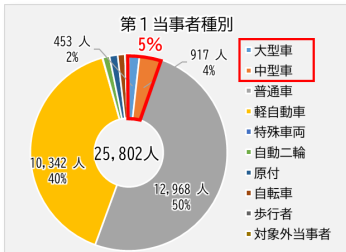
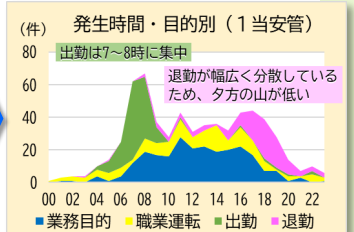
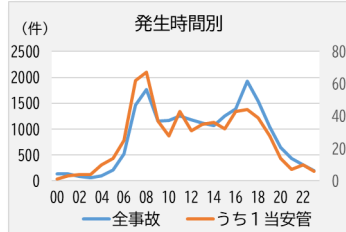
一方、第1当事者別で見ると、大型車や中型車の割合が高いことが特徴的です。車両が大きければその分致死率も上がりますので、特に注意を払う必要があります（詳細は、Vol.02を参照）。



(出典) 2023年の事故データより算出

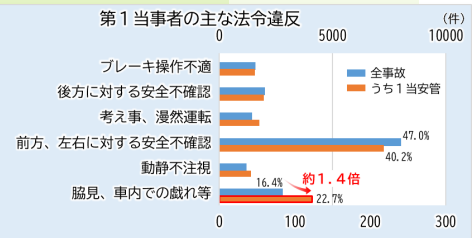


(出典) 福岡県警察本部交通企画課調べ



(出典) 件数: 2023年の事故データより算出

また、法令違反（第1当事者）で見ると、とりわけ高いのが、「脇見、車内での戯れ等」で全体に占める割合が約1.4倍と突出しています。やはり、業務上における運転では、自動車の運転に集中できない要因が多く潜んでいるのかもしれません。



(出典) 件数: 2023年の事故データより算出

さて、この安全運転管理者制度、まだまだ未選任の事業所が数多くあります。あなたの職場（事業所）は選任していますか？